

沖縄県職員採用ガイダンス2023

商工労働部

R5.12.22 (金)

商工労働部産業政策課 池原、松尾

説明の流れ

1. 商工労働部の紹介
2. 私たちの業務紹介等

商工労働部 組織図

(※全体で290名程度)

課長等 70名
主査 90名(10年以上)
主任 60名(10年前後?)
主事 70名(3年未満?)

商工労働部長

産業振興統括監

産業雇用統括監

産業政策課

企業立地推進課

ITイノベーション
推進課

アジア経済戦略課

マーケティング
戦略推進課

ものづくり振興課

中小企業支援課

労働政策課

雇用政策課

県外事務所
(東京・大阪)

海外事務所
(台湾・中国・韓国 等)

職業能力開発校
具志川・浦添

沖縄県産業
振興公社

ITイノベーション
戦略センター

工業技術センター
工芸推進センター

職場の風景①（産業政策課全体）



職場の風景②（島：班単位）



職場の風景③ (デスク)



Mission

産業振興全般 (他部所掌を除く)

県内企業の成長（稼ぐ力の強化）、デジタル社会の実現

海外とのビジネス交流、脱炭素・新エネルギー

就職支援、職業能力開発、高度人材の育成・確保

企業誘致、新型コロナ経済対策・・・etc



目標

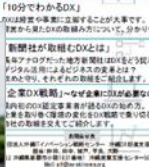
県民所得の向上、自立型経済の構築

予算の規模

商工労働部全体で約770億 (令和4年度)

※県全体約8600億、事業費だけでなく人件費等も含む

約130の事業を実施 (令和4年度)



スタートアップエコシステム構築支援事業 (産業政策課)

革新的な技術やビジネスモデルで世界に新しい価値を生み出す
スタートアップ企業の創業促進等に向けて、スタートアップ企
業の集積拠点の形成や優良企業の育成を支援



ResorTech Okinawa推進事業

(ITイノベーション推進課)

D Xに資する事例等の情報を発信

I T見本市で県内I T企業と他産業のビジネス交流機会を創出

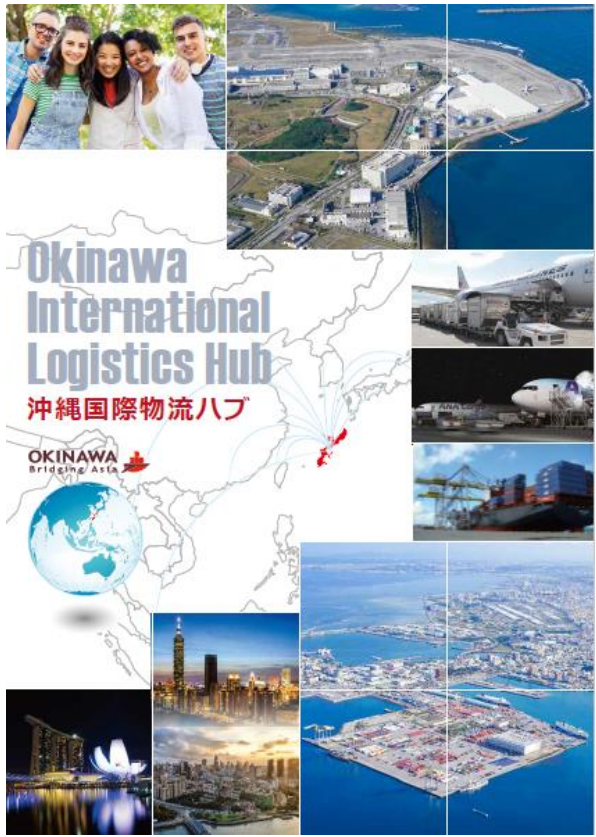
➡県全体のD X機運醸成、連携・共創を促進



沖縄国際物流ハブ活用推進事業

(アジア経済戦略課)

沖縄の地理的な優位性を活かし、国際物流ネットワークを展開するとともに、県産品の海外展開を支援



沖縄県所得向上応援企業認証制度 (マーケティング戦略推進課)



沖縄県所得向上応援企業認証制度



- ⇒ 企業の稼ぐ力向上
 - ➡ 従業員に還元
 - ➡ 給与所得向上



島工藝おきなわ販路拡大推進事業 (ものづくり振興課)

沖縄独自の魅力を活かした工芸品等の認知度向上及び 販路拡大を支援

琉球ガラス Ryukyu Glass

明治時代に入ってランプのホヤや
夜燈等を生産したのが始まりです。
戦後は観光産業のお土産品から発展し、
現在は、飲食器や花器等の日用品が
主要な生産品として
高く評価されています。

原材料/硝子ガラス、硝子、ソーダ灰、石灰石、アスベスト
主な製造業/花器、夜燈、立派、花瓶、花瓶、花瓶、花瓶
主な製品/飲食器、花器
主な産地/琉球ガラス製造所

壺屋焼 Tsuboya Yaki

1692年、阿波焼、徳田焼、宝川窯の三つの窯が
現在の産地に移設統合されたのが始まりです。
製品は瓦焼と土焼に大別され、
前者には、無釉の比較的大きな製品があり、
後者には釉薬を施し伸縮性の
高い磁器の製品が多くなります。

原材料/黒瓦焼土、赤瓦焼土、古瓦焼土、白瓦焼土、
黒瓦焼土、赤瓦焼土、古瓦焼土、白瓦焼土
主な製造業/阿波焼、徳田焼、宝川窯
主な製品/飲食器、花瓶、花瓶、花瓶、花瓶
主な産地/壺屋焼、壺屋焼、壺屋焼

琉球びんがた Ryukyu Bingata

15世紀に始まった沖縄唯一の伝統的染織で、
琉球によって琉球びんがた(琉球の)
絹織物(絹織物)とに分かれます。
綿布、絹布、化学繊維等に絹織物及び琉球びんがたを
加えて手織物である琉球びんがたの生産が、
琉球の伝統文化の宝として、
それぞれ重要な役割を果たしています。

原材料/絹織物、綿織物、化学繊維、絹織物
主な製造業/琉球びんがた、琉球びんがた
主な製品/絹織物、綿織物、化学繊維、絹織物
主な産地/琉球びんがた、琉球びんがた

琉球漆器 Ryukyu Shikki

14世紀に始まりました。
本島はアイゴ、エゴノキ等で、
上塗りには天然漆を用いた塗り立てで、
漆に糸の彫りや糸の他に刺し込みなど、
漆器は沖縄独自の装飾のほか、漆、漆、漆など
多様な技法があります。

原材料/天然漆、アイゴ、エゴノキ、桐、ササ、ササ、ササ、ササ
主な製造業/漆器、漆器、漆器、漆器、漆器、漆器
主な製品/飲食器、花瓶、花瓶、花瓶、花瓶
主な産地/琉球漆器、琉球漆器

小木工 Small Woodwork

昭和10年代に入り、リュウキュウマツや
イタビ等の原木を用いた小木工産業が興りました。
美術技術や職人技等の伝統工芸品の生産と
観光産業の発展により需要が増えた小木工が
発展の中に育ちました。

原材料/リュウキュウマツ、ササ、ササ、ササ、ササ
主な製造業/小木工、小木工、小木工、小木工
主な製品/飲食器、花瓶、花瓶、花瓶、花瓶
主な産地/小木工、小木工

金細工 Kinzaiku

寛政5年(1793年)、多(の)企業工芸人が中津川で工芸を興え、
金細工(金細工)と呼ばれました。
現在、玉手師から続く伝統的な金細工であるソーファー(かんざし)、
琉球漆器、漆器等の生産があります。
(協力:TPPO法人 首里まもろの会)

原材料/金、銀、銅
主な製造業/金細工、金細工
主な産地/金細工、金細工

事業承継推進事業 (中小企業支援課)

沖縄県の中小企業では、後継者が不足しているため、後継者の育成や事業承継計画の策定等を支援

事業承継補助金

県内の中小企業者・小規模事業者・個人事業主の会社や事業を引継ぐための経費の一部を補助します。

事業承継の前に、事業価値の見え方と置き上げてもらえるから、安心して引継ぐことができます。

社長のバトンタッチをサポートします！

税理士や専門家に依頼する経費(株価算定、事業価値の置き上げの費用)の一部を補助してもらえらるから、助かる。

今、後継者の仲間と共に学び会社を強くするチャンスです！

後継者育成塾

受講料無料 参加者募集！ 定員最大20名

こんな方におすすめ
① 実践的な経営知識を学び経営の現場に活かしたい
② 経営に必要な思考力を身に付けたい
③ 経営者同士の交流を促し、一生懸命仲間を作りたい

※ 組織承継と従業員承継の企業のみが対象となります。
※ 第三者承継 (M&A) は対象外です。

回数・日時(会場)	テーマ	目的
第1回 令和4年 9月 16日(金) 13:00-17:00(産業支援センター2階)	「経営理念」 大切にしているものをつくる	(1) 理念のある会社の強さを知る (2) 理念と社員の間接性を理解する (3) 理念がなぜ強さにつながるかを考える
第2回 令和4年 9月 30日(金) 13:00-17:00(産業支援センター2階)	「経営戦略」 競争優位性を探し、新たな市場をつくりあがる	(1) 経営戦略を把握する大切さを知る (2) 強みを活かして競合の真似をしないことを理解する (3) 方向性を導き出す思考力を養う
第3回 令和4年 10月 14日(金) 13:00-17:00(会場は調整中)	「ビジネスモデル」 磨きあがった仕組みを知り、磨きつけていこう	(1) 競合の強みを知る大切さを理解する (2) 業種別の強みを理解する (3) ビジネスモデルの改善点の導き出し方を知る
第4回 令和4年 10月 28日(金) 13:00-17:00(会場は調整中)	「経営陣」 役割と責任、権限の委譲による自律的な組織を作る	(1) 組織の一体感の作り方を学ぶ (2) 役割別、権限別と責務別に関係性を学ぶ (3) 上下、左右からのコミュニケーションの作り方を学ぶ
第5回 令和4年 11月 11日(金) 13:00-17:00(産業支援センター2階)	「業務改善とIT」 業務の特徴をつかみ、標準化やIT化で生産性を高める	(1) 業務改善の進め方を学ぶ (2) ITによる業務改善例を知る (3) 業務フローの作成方法を学ぶ
第6回 令和4年 11月 25日(金) 13:00-17:00(産業支援センター2階)	「労務管理」 組織の円滑な組織と社員の働きやすさを共有させる	(1) 労務管理の基本を学ぶ (2) 労務に関するリスクを管理できるようになる (3) 組織を活性化する労務管理を知る
第7回 令和4年 12月 9日(金) 13:00-17:00(会場は調整中)	「財務その1」 決算書から会社の今をつかみ、これからを思考する	(1) P&Lにおける決算書の位置づけを学ぶ (2) 会社の今、直近の稼ぐ力と決算書の関係性を学ぶ (3) 資金繰りの重要性を学ぶ

支援のイメージ

沖縄県

補助金交付 ↓ 申請 ↑ 補助金

申請手続きは沖縄県産業振興公社が支援

中小企業者 小規模企業者 個人事業主(※)

5社程度採択予定

※ 県内承認・従業員承継の場合は、5年以内に事業承継実行計画が立てられるように事業承継計画書を作成し、計画的に事業承継に取り組む必要があります。

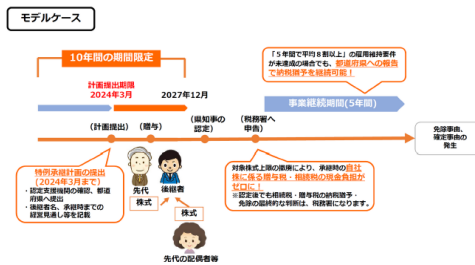
申請支援助費 アフターフォロー

沖縄県産業振興公社(補助金採択企業の支援等)

事業承継税制の特例措置が創設されました！

事業承継税制とは？
○ 事業承継税制は、一定の要件のもと非上場株式等に依る贈与税・相続税が猶予される制度です。

○ 平成30年度税制改正では、10年間の措置として、納税猶予割合の引き上げ(80%から100%)等がされた特別措置が創設されました。



働く女性応援事業 (労働政策課)

仕事に関する相談や

キャリアアップ・スキルアップセミナーの開催
職場づくり支援プログラム等の企業支援



若年者活躍促進事業

(雇用政策課)

新卒総合就職支援
ジョブトレーニング
未来の産業人材育成
県内就職促進 (マッチング)
人材確保・定着支援

合同就職説明会・面接会の開催
企業での職場訓練
就職者の相談窓口、コーディネーター設置
企業の人材確保・職場定着の取組を支援



就職から生活までワンストップでサポート!



月曜日～金曜日 9時～17時

商工労働部で働く魅力

デスクワークだけでなく・・・

- ・ 県産品の消費者啓発イベントや人材セミナーの開催
- ・ 企業や関係団体との連携調整
※商品化・サービス化前の最新技術等の情報に触れられることも
- ・ 先進事例視察等のための県内外への出張
- ・ 上記を基にした新規事業の提案



等



今年度新採用職員の担当業務

令和5年度商労働部では8人の新採用が配属
(※産業政策課以外の8課に1名ずつ)

主な業務

- ・ **庶務** (文書事務、物品管理、消耗品の購入 等)
- ・ **給与関係** (給与支払、福利厚生、働き方改革)
- ・ **予算、決算、監査、会計検査**
- ・ **県議会対応** (年4回の定例会+臨時会)
- ・ **イベント関係** (技能五輪、ちむどんどん)
- ・ 関係団体との連絡調整 (商工会などの産業支援団体)
- ・ **予算事業**



等



※各課の先輩職員の中からマンツーマンのトレーナーが選任されて
アドバイスをもらいながら仕事を進めていきます

県外事務所

(東京、大阪、名古屋)

沖縄の観光、特産品等のPRを始め、企業誘致やU I ターン
就職支援等、幅広い情報発信を行う拠点として設置



Uターン事業ナビサイト
沖縄県りっか沖縄 当事業について 求人情報 企業情報 企業イベント・インターンシップ情報 その他の情報



海外事務所

(台北・上海・香港・北京・シンガポール)

海外における県産品の販路拡大、観光客等の誘致、県内企業の海外展開支援等を目的として設置

委託駐在員配置



業務内容とある日の業務

産業政策課：松尾

- ・ 県内企業の生産性向上を目的とした人財育成（計画策定、研修実施等）を支援する事業（委託）
- ・ 事業の進捗管理、改善検討
- ・ 事業の予算、決算資料の作成
- ・ 地域の特性を活用した事業を支援する取組（経産省法律/県窓口）
- ・ 事業者からの申請、相談に対応

1日の流れ（勤務時間：8:30～17:15）

8:25	出勤
8:30	メールチェック、依頼の切り確認
9:00	委託先事業進捗確認（電話、Slack等）
9:30	課内調整用 資料作成
11:00	班内調整→資料修正
12:00	昼休憩
13:00	課内調整→部内調整
14:00	調整メモ作成
15:00	予算、計画関連の全庁依頼資料作成
17:15	（業務終了）場合によって残業
18:30	退勤

職歴（入庁8年目）

道路街路課

3年

主な業務

- ・ 予算（経理、管理、契約）
- ・ 庶務（人件費、服務）

宮古保健所

3年

主な業務

- ・ 感染症事務
（結核、新型コロナ）

産業政策課

2年目

業務内容とある日の業務

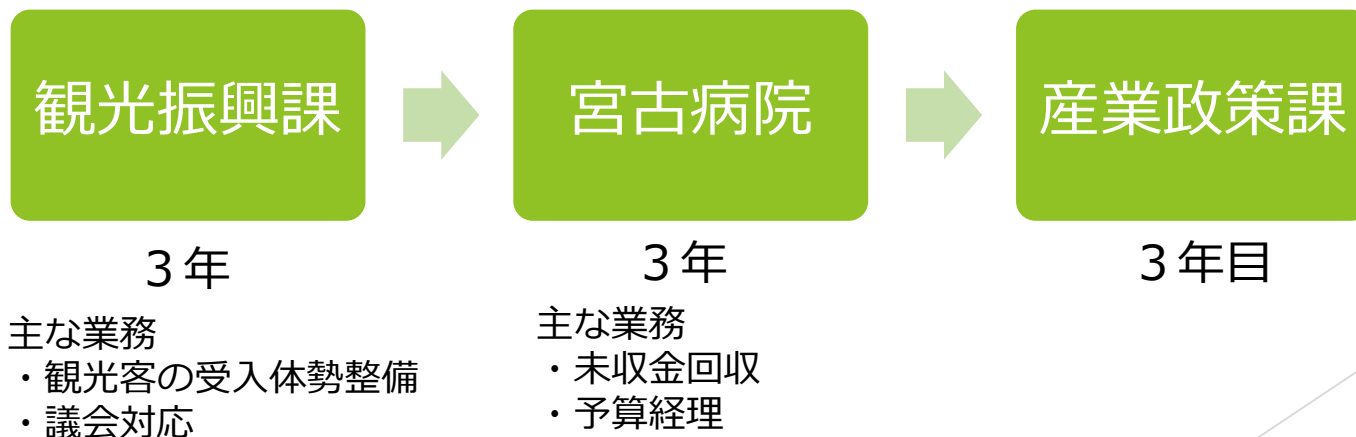
産業政策課：池原

- ・産業振興に資する民間企業の取組に対する補助支援
- ・補助事業者の進捗管理、専門家を派遣した助言の実施（委託）
- ・予算、決算資料の作成
- ・事業実施による効果検証
- ・議会説明準備（事業成果等）
- ・その他

1日の流れ（勤務時間：8:30～17:15）

8:15	出勤
8:30	メールチェック、依頼文書確認
9:30	予算事業の方針・スケジュールの確認
10:30	文書作成 等
12:00	昼休憩
13:00	委託先オンライン打ち合わせ
14:30	文書作成 等
17:15	業務終了
17:30	退勤

職歴（入庁9年目）



【参考】現場の感想

- ・勤務地
- ・部署
- ・仕事内容
- ・人間関係（上司、同僚）
- ・部署異動
- ・生活（休暇、残業）

その他ご質問があればお気軽にどうぞ！

おわり